

令和8年度 新潟市地域おこし協力隊（共創コミュニティマネージャー）募集要項

1. 目的

新潟市内の2つの地域（東区・西区）では、今、「ものづくり」「自然・文化」といったテーマを起点に、地域資源を介し人と人とのつながりが生まれ、新しい地域の動きが育ち始めています。

こうした動きをさらに広げ、地域に新たな風を吹き込む存在として、地域おこし協力隊の仕組みを活用した「共創コミュニティマネージャー」として活動いただける方を、新潟市地域おこし協力隊（共創コミュニティマネージャー）設置要綱に基づき、区ごとに募集します。

2. 募集対象者

（1）年齢

問いません。

（2）性別

問いません。

（3）地域要件

現在、3大都市圏の都市地域（条件不利地域以外の区域）または政令指定都市（条件不利地域以外の区域）に居住しており、委嘱期間を通して生活拠点を新潟市に移し、採用後に住民票を異動できる方

※ご自身の現在の居住地（転出地）が、どの区分に該当するかは、次のURL を参考にしてください。なお、詳細については、お住まいの自治体に確認をお願いいたします。

<地域要件確認表（総務省HP）>

<https://www.soumu.go.jp/chiikiokoshitai/pdf/000847999.pdf>

（補足1）

3大都市圏 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県の区域の全部。ただし、国勢調査において、2005 年から2015 年の人口減少率が11%以上の市町村については、3大都市圏外とする。

条件不利区域 次の①から⑦のいずれかで公示・指定・規定される市町村。

①過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法、②山村振興法

③離島振興法、④半島振興法、⑤奄美群島振興開発特別措置法

⑥小笠原諸島振興開発特別措置法、⑦沖縄振興特別措置法

(補足 2)

以下のア～ウのいずれかに該当する方は、上記の表に関わらず、転出地は問いません。

ア 協力隊経験者（2年以上隊員として活動し、かつ、解嘱から1年以内の方）

イ JET プログラム修了者（2年以上JET 参加者として活動し、かつJETプログラム終了から1年以内の方）

ウ 海外に在留し、市町村が備える住民基本台帳に登録されていない方

(4) 活動の開始時期

令和9年1月頃を目途に活動を開始できる方（時期に関しては相談が可能です）。

(5) 次のア～ウのいずれにも該当しない方

ア 暴力団員

イ 暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有する方

ウ その他暴力団事務所に出入りするなどア、イのいずれかに準ずる方

(6) 次の要件をすべて満たす方

ア 地方公務員法第 16 条に規定する欠格事項に該当しない方

イ 心身がともに健康で、かつ、誠実に職務を遂行できる方

(7) 次の技術要件をすべて満たす方

ア 普通自動車免許を取得しており、日常的な運転に支障のない方

イ パソコンの一般的な操作（ワード・エクセル・パワーポイント、電子メール・SNS 等）ができる方

3. 本募集の特徴

【1】地域プレイヤーと一緒に、まちを盛り上げる

新潟市の2つの地域には、すでに地域の中でチャレンジを続けている魅力的なプレイヤーがたくさんいます。そしてどの地域にも、外から来る人をあたたかく迎え入れる土壌があります。そんな面白い地域プレイヤーたちと、あたたかな地域コミュニティとともに、一緒に“まちを盛り上げていく”ことができるフィールドが、ここにはあります。

【2】自分の「好き」や「得意」を地域で活かす

活動テーマは、「ものづくり」「自然・文化」の2つ。

関心のある分野やこれまでの経験を活かしながら、自分らしいプロジェクトにチャレンジしてみませんか。「やってみたい」と思っていたことを地域でカタチにする。自分の「好き」や「得意」で、地域が動き出していく。そんな手応えを日々の活動の中で実感できる環境です。

【3】3年後を見据えて、地域で“仕事”をつくる伴走支援

任期が終わったあとも、自分らしいキャリアを築いていきたい。そんな想いをしっかり支える仕組みがあります。あなたの「やりたいこと」と「地域のニーズ」を、どう重ね合わせていくか。地域に“仕事”をつくるまで、一緒に考え、かたちにしていきます。

4. あなたらしいチャレンジを選べる、区ごとの2つのポジション

下記の2つのポジションを募集します。募集内容の詳細は、別紙をご確認ください。

【1】東区 | ものづくりと地域をつなぎ、「産業のまち東区」を地域が誇れるまちへ

別紙1を参照

【2】西区 | 自然資源や地域文化をかけあわせ、新しいチャレンジが生まれ続ける「にぎわいのある西区」へ

別紙2を参照

5. 身分等

(1) 身分

地域おこし協力隊として、新潟市長が委嘱します。

(2) 市と委託契約を締結します。（新潟市との雇用関係はありません）

(3) 委嘱期間

委嘱の日から会計年度を超えない範囲で12か月以内としますが、最長で令和11年12月31日まで延長可能です。

ただし、職務怠慢等、隊員として相応しくないと判断された場合は、委嘱期間中であっても委嘱を打ち切る場合もあります。

6. 募集概要

項目	内容	備考
募集人数	2名（各区1名ずつ）	
活動期間	委嘱日（令和9年1月頃予定）から令和9年3月31日まで（最長で令和11年12月31日まで延長可能）	・活動の開始時期に関しては相談可能

月額報酬 (委託料)	月額209,000円～264,000円(税込み)程度 ※別途支給する経費がある場合は契約時に明記 ※委嘱日が年度途中となる場合は、日割り計算	・令和8年度は 209,000円/月(税込み)で固定 ・令和9年度以降は、活動プランに基づき協議の上で決定
活動時間の目安	月100時間～125時間程度 (例) 1日4～5時間で週5日活動	・令和8年度は 100時間/月で固定 ・令和9年度以降は、活動プランに基づき協議の上で決定
活動経費	上限額1,440,000円(年額)(120,000円×12月) ※委嘱日が年度途中となる場合は、日割り計算	【主な用途】 ・住居費(月額5万円を上限に支給) ※水道光熱費は自己負担 ・活動車両費(車両リース代やガソリン代を規定に基づき支給) ・活動旅費等の移動費 ・作業道具、消耗品費 ・隊員の研修に要する経費 ・定住に向けた研修・資格取得費 ・活動報告会等の経費 【対象とならないもの(例)】 飲食代、土地・建物・車などの購入費、個人の資産となる経費、国民健康保険料、国民年金保険料など
兼業	業務に支障がない場合は兼業が可能	届出書提出のこと

※ 雇用関係がないため、雇用保険には加入しません。健康保険、年金等は、各自での対応となります。

※ 上記報酬および活動時間は、活動計画や提案事業の活動内容によって異なるため、令和9年3月を目安に活動プラン発表の機会を設け、協議の上決定します。(令和8年度の報酬・勤務時間は固定：209,000円/月100時間)

7. 選考プロセス・応募方法

【募集期間】

令和8年8月28日(金)～11月7日(土)23:59

(募集期間中のイベント)

- ・オンライン説明会(全2回)
- ・おためしフィールドツアー

【選考フロー】

書類選考 → オンライン面接審査 → 採択者通知 → 着任

※オンライン面接審査の結果、一定の基準を満たした方の中から採択者を決定します。

※オンライン面接審査は、11月中旬～下旬頃を予定しています。日時が決まり次第、市ホームページでお知らせいたします。

【応募方法】

以下よりプレエントリーフォームをご提出ください。

【プレエントリーフォームURL】<https://forms.gle/iMVhXC2ad4eCKWHB9>



その後、niigata-kyouryokutai@borderless-japan.com より応募書類がメールで届きますので、必要事項をご記入の上、ご返信ください。

応募書類提出締切： 令和8年11月7日(土) 23:59

【応募書類】

①エントリーシート(本応募用)

②履歴書

③暴力団等の排除に関する誓約書兼同意書

※様式はプレエントリー者へ個別にお送りいたします。

8. 募集期間中のイベント

応募を検討している方に向けて、2つの地域をより深く知っていただくため、募集期間中に以下のプログラムをご用意しております。

【地域おこし協力隊説明会】

募集概要の詳細説明はもちろん、各区で活躍する地域プレイヤーも登壇し、それぞれの地域でどんな動きが始まっていて、どんな人が求められているのか？現地のリアルな人の声を届けます。

(日程) ①令和8年9月10日(木) 19:00～20:00

②令和8年10月1日(木) 19:00～20:00

(形式) オンライン (Zoom) (費用) 無料

※申込・詳細は下記URL又は二次元コードからお進みください。(市HPにもリンク有り)

<https://niigata2026-setsumeikai.peatix.com>



※当日ご参加の申込は、各回開催直前まで受付しています。

※アーカイブ配信もご用意しております。(視聴申込は11月7日(土)23:59まで)

【地域おこし協力隊おためしフィールドツアー】

地域の“今”をつくるキーパーソンたちと出会い、話し、歩き、考える。

共創コミュニティマネージャー(地域おこし協力隊)として、あなたの視点・経験・個性がどう活かせるのかを実際に肌で感じることができる2泊3日のフィールドツアーです。

※採択者の選考にあたっては、地域課題等を踏まえ、新潟市で実現したい取り組みをご提案いただきます。実際に地域を見ていただき、あなたが新潟市で活躍する姿を思い描いていただく絶好の機会ですので、ぜひご参加ください。

(日時) 令和8年10月16日(金)～10月18日(日)の2泊3日

(場所) 新潟市内

(内容)

16日(金)	17日(土)			18日(日)
午後	午前	午後	夜	午前～午後
オリエンテーションなど	東区体験	西区体験	懇親会	ワークショップなど

(費用) 一部自己負担あり

・現地までの交通費や飲食等の個人的な費用、宿泊費の一部

(定員) 10名(原則先着順)

(申込締切) 令和8年10月9日(金) 23:59

※申込・詳細は下記URL又は二次元コードからお進みください。(市HPにもリンク有り)

<https://niigata2026-fieldtour.peatix.com>



9. お問い合わせ

【募集全体に関すること】

〒951-8550新潟市中央区学校町通1番町602番地1
新潟市政策企画部 共創コミュニティ推進事業担当
電話：直通025-226-2152
E-mail：seisakukikaku@city.niigata.lg.jp

【応募に関すること】

新潟市地域おこし協力隊（共創コミュニティマネージャー）募集事務局：（株）ボーダ
レス・ジャパン
E-mail：niigata-kyouryokutai@borderless-japan.com

募集内容 | 東区

ものづくりと地域をつなぎ、「産業のまち東区」を地域が誇れるまちへ

概要

東区は、製造業の事業所数・従業員数が新潟市8区で最も多い「産業のまち」です。一方で、東区に暮らす人の中には、地域の特色や強みに気づかないまま過ごしている人も少なくありません。そのため、地域への愛着を感じたり、東区で働き暮らす姿を思い描いたりすることが難しく、地元を離れる若者も多いのが現状です。

そこで、「産業のまち」という強みを、地域への誇りや愛着、さらには人が集い交流する賑わいへとつなげていく取り組みが求められています。その一つが、下山地域にある木工関連の事業者を主体とする協同組合新潟木工センターを中心に、2023年から始まった「新潟市東区オープンファクトリー」です。工場見学やものづくり体験を通して、事業者と住民や学校など地域の人たちが出会い、新たな関係を築くきっかけが生まれています。現在は、ものづくりに触れる機会はイベント時に限られていますが、今後は、日常の中でも工場やものづくりを身近に感じられる場や機会を増やし、事業者と地域の人たちが課題やアイデアを共有できるコミュニティづくりにもつなげていきます。そんな「産業のまち東区」のこれからをつくる取り組みに、あなたの力を貸してください。

活動フィールド

舞台は、製造業が集まる「産業のまち東区」です。東区には、オープンファクトリーをきっかけに地域の人たちとの交流を始めた事業者や、工場の隣に同業者や地域の人たちが集える食堂をオープンするなど新しい取り組みに挑戦する方々があります。こうした方々との関係を築き、さらに広げながら、空き倉庫を活用した新たな交流拠点の検討をはじめ、ものづくりの魅力を発信し、新しい交流や活動が生まれる場を一緒につくっていきます。

求める人物像

- 「ものづくり」に関心がある人
- 初対面の人と話したり、知らない場所に飛び込んだりするの好きな人
- アイデアを出したり、仲間と一緒に形にしていけるのが得意な人

活動内容の一例

- 地域との関係づくり
 - 区内の様々な関係者を訪問し、ものづくりや地域への想い、課題などを聞く
 - 地域のイベントや事業者の活動に参加し、顔の見える関係をつくる
- ものづくりを地域にひらく活動
 - 工場見学やものづくり体験、ワークショップなど、地域の人たちがものづくりに触れる機会をつくる
- 地域とものづくりをつなぐ「場」づくり、「取り組み」づくり
 - 空き倉庫などの活用を検討し、関係者と一緒に交流拠点のあり方を考える
 - 事業者や地域の人たちが集まり、新しい活動が生まれるコミュニティをつくり、広げる
 - 活動で生まれたコミュニティと新しい企画や取り組みを一緒につくる

募集内容 | 西区

自然資源や地域文化をかけあわせ、
新しいチャレンジが生まれ続ける「にぎわいのある西区」へ

概要
西区は、商業施設や良好な住宅地が形成された利便性の高いまちである一方、広大な農地、海や河川などの豊かな自然にも恵まれた、都市と自然が調和する地域です。区内には、海、農業、発酵・醸造などの自然資源や地域文化があり、それぞれの分野で新しい取組に挑戦する人たちがいます。その一方で、それぞれの活動や取組は単発的なものにとどまることも多く、「人と人」「活動と活動」「資源とアイデア」がつながることで、その魅力や可能性をさらに広げる余地があります。 そこで、海、農業、発酵・醸造などに関する自身の興味や経験を生かし、西区で活動する人や資源をつなぎ合わせていくことが今回のミッションです。 例えば、農家と飲食店をつないだ商品開発、海や農業を生かした体験プログラム、発酵・醸造文化をテーマにしたイベント、地域の人と一緒につくる新しい交流の場など。新しい企画を小さく試しながら、継続的な活動や仕事へ育てていくことを期待します。新たなチャレンジが生まれ続ける「にぎわいのある西区」づくりに、ぜひあなたの力を貸してください。
活動フィールド
舞台となる西区には、海、農業、発酵・醸造などの自然資源や地域文化を生かし活動する魅力的な地域プレイヤーがたくさんいます。 例えば、発酵文化が根づく街道沿いで、酒蔵見学などを通じて地域の賑わいを作り出す酒蔵、規格外食品を活用しフードロス削減に取り組む団体、海岸清掃やこども食堂、フードシェアを通じて交流の場をつくる団体、新しい農業のあり方を模索しながら地域づくりに取り組む事業者などです。 こうした人たちを入口に、西区内の様々な人や活動のもとへ足を運び、話を聞きながら、自身の興味や経験と地域との接点、新しいつながりや活動の可能性を見つけていきます。
求める人物像
● 海、農業、発酵・醸造などへの興味や経験を地域で生かしたい人 ● 初対面の人と話したり、知らない場所に飛び込んだりするのが好きな人 ● いろいろな人の意見を聞きながら、一緒に進め方を考えるのが得意な人
活動内容の一例
○ 地域(人・場所・資源)を知り、つながる。関係を作る。 ■ 農家、事業者、地域活動団体などを訪問し、地域の魅力や想い、課題を知る ■ 地域のイベントや会合などにも参加し、様々な人と活動を共にする ○ 人・活動・資源をつなぎ、小さな取り組みを試す。 ■ 海、農業、発酵・醸造などに関する自身の興味や経験を生かし、様々な人と活動を共にしながら、これまで交流のなかった人同士が協力して一緒に取り組める企画を考える ■ 関係者と役割を分担しながら、企画を実際に試してみる ○ 次の活動につながる仕組みをつくる ■ 実践を通じて生まれたつながりやアイデアを、次の企画につなげ、活動を継続するための関係づくりや活動の土台を整える